





令和 6 年度「韓哲・まちづくり夢基金」 運用益等活用事業（案）

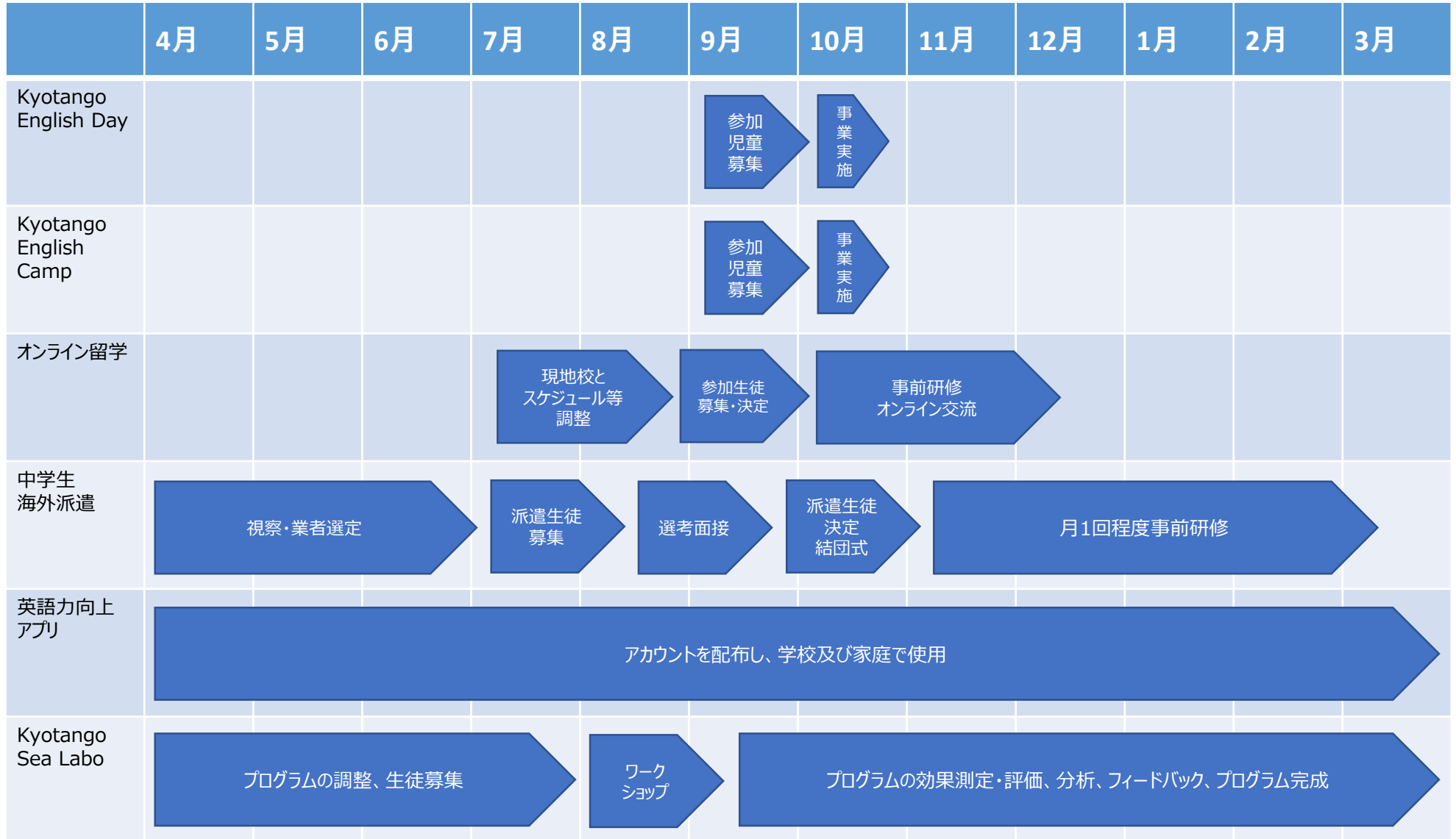
令和6年度「韓哲・まちづくり夢基金」運用益等活用事業（案）


No	事業名	分野	担当部署	予算額 (基金充当予定額)	継続・新規
1	グローバル人材育成事業	教育	教育委員会 学校教育課	22,429千円 (12,151千円)	継続 ※3年目
2	遠隔教育実施事業	教育	教育委員会 学校教育課	260千円 (130千円)	新規
3	韓哲・まちづくり夢基金事業補助金	その他	市長公室 政策企画課	10,000千円 (10,000千円)	継続 ※8年目
4	高等学校全国募集入学生応援事業	教育 ほか	教育委員会 教育総務課	3,240千円 (3,240千円)	継続 ※4年目
5	第4回京丹後市民陸上記録会	スポーツ	教育委員会 生涯学習課	300千円 (238千円)	継続 ※4年目
6	京丹後市文化芸術振興計画及び 文化庁移転に伴う文化芸術推進事業	文化	教育委員会 生涯学習課	4,532千円 (2,367千円)	継続 ※2年目
合計				40,761千円 (28,126千円)	

分野	教育	担当部署	教育委員会事務局 学校教育課	令和6年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	22,429千円 (12,151千円)
目的	国際感覚を持ち将来グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、児童生徒を対象に諸外国への興味関心を深め文化や伝統を理解する機会を創設し外国語教育の充実を図るとともに、産学連携のもと新たな可能性を創造するSTEAM教育の推進を図る。				
事業概要・主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ○Kyotango English Day 【対象：小学3・4年生】 22千円 CIR・ALTとの英語による交流会（消耗品費） ○Kyotango English Camp 【対象：小学5・6年生】 347千円（入：199千円） CIR・ALTとの交流会（通信運搬費、施設使用料等） 1泊2日で開催 定員：20人 ○オンライン留学 【対象：中学1年生】 36千円 外国とのオンライン交流を開催。事前研修を含む5回で構成（通信運搬費） ○中学生の海外派遣 【対象：中学2年生】 10,685千円（5,341千円） 海外へ派遣し、一般家庭での生活体験や現地の学校で、学校生活を体験 派遣先：オーストラリア パース 期間：9日間 人数：20人 ※渡航費用の2/3を補助金交付（旅費、補助金、謝礼品代等） ○英語力向上アプリの導入（令和4年度～3か年事業） 5,599千円（1,869千円） AIによる英語力向上アプリを市内全中学1～3年生のタブレットに導入 英語の「聞く」「話す」力を伸ばすとともに英語でのやりとりに自信をもてる生徒を育成 （報償物品、ライセンス使用料） ○「Kyotango Sea Labo」の開催（令和4年度～3か年事業） 5,740千円（2,869千円） 本市の産業等の特色を活かしつつ、丹後学、デザイン思考、STEAM教育の要素を融合させたプログラム（ワークショップ）を専門機関（海外の大学含む）と連携し実施（報償金、旅費、委託料）【対象：中学3年生及び高校2年生】 				<p style="text-align: center;">思いやりの心もち ことばの橋を架けて 未来をつくり出すことも 育てたい3つの資質</p>  <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="width: 30%;"> <p>お互いを認め合う心</p>  <p>Open-handed</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>世界とつながるコミュニケーションの力</p>  <p>Bridge</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>未来をつくり出す力</p>  <p>Design</p> </div> </div>
	事業スケジュール				
別紙のとおり					

No1 グローバル人材育成事業

事業スケジュール



分野	教育	担当部署	教育委員会事務局 学校教育課	令和6年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	260千円 (130千円)
目的	中学校技術科の授業を、高度な専門性を有した専門人材に遠隔地から実施していただくことにより、都市部から離れた本市に居住している生徒たちに、都市部と遜色ない教育環境を作ることを目的とする。				
事業概要・主な経費	<p>○事業概要</p> <p>本市では、「丹後学」の実施により、探究的な学びを通して郷土への愛着と誇り、地域固有の価値について考えさせる学習を行っており、これまでの成果を基盤にICTの活用を進めていく。</p> <p>市内には高等教育機関が存在しないこともあり、高校卒業後は9割が転出し、回復率は3割にも満たない状況にある。本市全体の人口はもとより児童生徒数も年々減少する中、現在、新たな教育や人材育成を地域とともに一体的に構築していくための在り方について検討を行っている。</p> <p>そのような中、遠隔教育を実施することで、本市が抱える地理的環境などの様々なハンディキャップを乗り越え、より充実した学びを児童生徒に届ける。</p> <p>実施教科の技術（計測・制御のプログラミング）において、解決できる問題を見つけ、その問題を解決するための情報収集を行ったり、具体的システムのプログラムを制作することで、これからの時代に必要な探究的な学びを身に付ける。</p>			<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 企業の技術者等 (特別免許状取得) </div> <div style="text-align: center;">  <p>遠隔授業</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 中学校の教員 (技術科の免許を保有していない。) </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">本市には、技術科の教科免許を有した教員がいない学校がある。</p>	
	<p>○主な経費</p> <p>講師報酬（1名）260千円</p>	<p>事業スケジュール</p> <p>令和6年4月～12月：遠隔授業実施 ※技術科「計測・制御のプログラミングによる問題解決」 (13時間)</p>			

分野	その他	担当部署	市長公室政策企画課	令和6年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	10,000千円 (10,000千円)
目的	韓哲・まちづくり夢基金を活用し、本市の教育、文化、芸術又はスポーツの振興、地域経済活性化のための新産業の興隆その他のまちづくりに繋がる人材育成、顕彰等を行う者に対して、企画公募型の補助金を交付して支援し、市民等の夢の実現を後押しする。				
事業概要・主な経費	<p>【補助対象者】 京丹後市内に住所又は主たる事務所若しくは事業所を有する、個人（未成年の場合は保護者）、団体、法人等</p> <p>【募集する事業】 応募は1個人又は1団体等につき1提案。事業内容は、「京丹後市韓哲・まちづくり夢基金条例」に規定する、本市の教育、文化、芸術又はスポーツの振興、地域経済活性化のための新産業の興隆その他のまちづくりに繋がる人材育成、顕彰等に係る事業であること。 本市の他の補助制度の対象となる事業（京丹後市スポーツ・文化活動等大会出場激励金等）については補助対象外とする。</p> <p>【補助金額、補助率等】 補助率2/3以内（上限100万円） ※ただし、教育、文化、芸術又はスポーツの振興に関する分野かつ営利を目的としない事業は、補助率10/10以内。</p> <p>【審査】 「京丹後市韓哲・まちづくり夢基金運用委員会」において審査を行う（提出書類及び応募者によるプレゼンテーションに基づく審査）。</p> <p>【決定】 上記審査結果をもとに、市長が補助金交付の内定（又は不内定）を決定。予算額を超える申請があったときは、「子どもが自主的又は主体的に関わる事業を優先する。それ以外は委員会で審査された点数順とする。その後、内定者は補助金交付申請書を提出する。</p>			事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・4月上旬～5月上旬：公募 ・5月下旬：委員会審査、内定決定 ・6月中旬：交付申請書提出 ・6月下旬：交付決定 ・6月下旬～：事業実施

分野	教育ほか	担当部署	教育委員会事務局 教育総務課	令和6年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	3, 240千円 (3, 240千円)
目的	<p>令和3年4月から京都府立丹後緑風高等学校（網野学舎）で全国部活動特別入学選抜が実施された。このため、京都府外の遠方から入学する生徒の下宿等（下宿、寮及びアパート等）に係る経済的負担を軽減するため、当該経費の一部を支援することで生徒の就学支援をはじめ、地域で培われたスポーツ風土を生かした部活動を応援することで人材の育成及び市内の高等学校の存続発展と地域の活性化に資することを目的とする。</p>				
事業概要・主な経費	<p>【支援内容】 下宿費等の賃借料の2分の1以内の額（千円未満の端数は切り捨てし、月額2万円上限）を、正規の修業年限（3年間）について支援する。</p> <p>【対象者の要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 京都府外の都道府県からの入学生徒の保護者に支援する。 入学後、生徒は京丹後市の住民基本台帳に登録され、現に居住し、就学すること。 入学後、生徒は指定された部活動（レスリング部）に加入すること。 また、申請時には、学校長の証明を添えること。 令和6年度の募集人員は、6人以内とする。 <p>【全国部活動特別入学選抜入学生の状況】 令和4年度入学生 5人 令和5年度入学生 5人</p>				
	<p>事業スケジュール</p> <p>令和5年9月 令和6年度京都府立高等学校第1学年生徒募集定員等、京都府立公立高等学校入学選抜要項周知、公表開始</p> <p>令和6年2月 入学者選抜試験</p> <p>4月 入学後、交付申請書提出、第2学年及び第3学年交付申請書提出 (R4、R5年度交付決定者) 年3回補助金交付（8月、12月、4月）</p>				

分野	スポーツ	担当部署	教育委員会事務局 生涯学習課	令和6年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	300千円 (238千円)
目的	スポーツの基礎となる陸上競技の機会の提供、また、市民のスポーツ実施率向上、健康づくり及び体力づくりの向上、市のスポーツ振興に寄与することを目的とする。				
事業概要・主な経費	<p>○主催 京丹後市・一般財団法人京都陸上競技協会</p> <p>○主管 北丹陸上競技協会</p> <p>○日時 令和6年6月30日(日) 午前8時30分受付(午前10時 競技開始)</p> <p>○会場 峰山途中ヶ丘公園 京丹後はごろも陸上競技場</p> <p>○参加資格 (1)小学生以上で、京丹後市に在住・在勤であること。 (2)車いす競技は、健常者であっても出場することができる。</p> <p>○種目 (1)一般競技の部(10種目・男女別) 60m、100m、800m、1500m、3000m 4×100mR、走幅跳、砲丸投、やり投、ジャベリックボール投 (2)公認競技の部(8種目・男女別) 100m、800m、1500m、3000m 4×100mR、走幅跳、砲丸投、やり投 (3)車いす競技の部(2種目・男女別) 60m、100m</p> <p>○定員 250名</p> <p>○参加料 参加料は、1人あたり以下のとおりとする。 小人：無料 大人(18歳以上)：500円</p>				
		事業スケジュール	<p>4月中旬 主管団体との会議</p> <p>5月上旬 エントリー開始</p> <p>6月上旬 エントリー締切</p> <p>6月下旬 京丹後市民陸上記録会</p>		

No6 京丹後市文化芸術振興計画及び文化庁移転に伴う文化芸術推進事業

分野	文化	担当部署	教育委員会事務局 生涯学習課	令和6年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	4,532千円 (2,367千円)
目的	<p>本市文化芸術振興条例に基づき策定した「京丹後市文化芸術振興計画」では、『文化芸術を楽しむ 人が輝く京丹後～はぐくむ、つなぐ、いかす』日本のふるさと丹後”の文化を次世代へ～』を理念とし、本市の豊かな文化的資源を継承・活用して、市民が文化芸術に親しみ、愛着や誇りを感じられる文化芸術のまちづくりを進めます。</p> <p>この理念を実現するために定めた6つの基本方針に沿って、文化芸術活動機会の確保や文化的資源の継承、文化芸術関連団体の振興や人材育成、情報発信などの事業に取り組み、まち全体で文化芸術を楽しむ気運の醸成につなげます。</p>				
事業概要・主な経費	<p>1「京丹後アートフェスティバル2024」の開催 市民が多様な文化芸術に触れ、そこでの学びや体験を通して、創作や表現することの楽しみを体得できる機会を提供するため、一定期間をフェスティバルとして開催する。昨年度に増して、創作体験の機会を充実させるため、ワークショップマルシェ（仮称）を催し、誰もが自由に美術やダンス、音楽などに触れられる場をつくる。</p> <p>■事業費2,473千円（基金充当予定額 1,237千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みるプログラム」994千円（需用費（印刷製本費）800千円、ほか） ・「知るプログラム」928千円（報償費（謝金）525千円、需要費340千円、ほか） ・「ワークショップマルシェ」330千円（委託料（会場設営費）330千円） <p>2 落語会・落語体験塾の開催 市内中学生を対象に、本物の文化芸術に触れる体験塾を開催し、将来の文化芸術分野を担う人材育成に寄与するとともに、市民には、本物の文化芸術を体感できる機会を提供し、「文化芸術を楽しむまち」に繋げる。</p> <p>■事業費1,859千円（基金充当予定額 930千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落語体験塾：市内中学校2校を対象（予定）に、本物の落語家による体験塾（ワークショップ）の開催 ・落語三人会：本物の落語家による落語会の開催 <p>3 丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会補助金 障害がある方たちへの市民の理解醸成といきいき暮らせるまちづくりにつなげることを目的に、障害がある方の絵画等アート作品を市内各所で展示する「TANGOまるっぼ美術館」を開催する同実行委員会に対し経費に対し助成する。</p> <p>■補助金200千円（対象経費内訳：画用紙購入費25千円、イーゼル購入45千円、会場費30千円、周知チラシ作成60千円、消耗品費10千円、作品謝礼30千円）</p>			<p>1「京丹後アートフェスティバル2024」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月 ワークショップマルシェ公募開始 ・8月 「みるプログラム」広報物配布 ・9月～ 京丹後アートフェスティバル2024開催予定（～12月まで） <p>2 落語会・落語体験塾の開催（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月 体験塾対象校の決定 ・9月 落語三人会の広報物配布 ・11月 落語体験塾の開催 落語三人会の開催 <p>3 まるっぼ美術館の開催（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月以降 福祉事業所等へ作品制作依頼 ・秋ごろ 市内複数箇所で開催 	

参考資料

1「京丹後アートフェスティバル2024」の開催

■実施内容

(1)「みるプログラム」

市内で行われるアートイベントと連携し、それらの情報をデザイン性の高い広報物に集約。SNSや連携するイベント実施団体等と協働し、一体的に鑑賞や体験の機会を創出する。

(2)「知るプログラム」

昨年度から継続し、市内在住のプロのアーティストの専門性を活かした2種類の連続ワークショップを実施する。2年目は「つくる」ことに特化した内容を実施する。

- ・「みなみなささいをする」 講師：金井 悠（陶芸家）
- ・「たんごのだんす、どうなっとるだあ」 講師：宮北裕美（コンテンポラリーダンサー）

(3) ワークショップマルシェ（仮称）

誰もが自由に文化芸術に触れられる機会を生み出すため、アーティストや文化芸術団体（プロ、アマ問わず）によるワークショップを一堂に集め、1日中ワークショップが楽しめるマルシェを実施する。

絵画やダンス、工芸、映像のほか、伝統芸能や食など、様々なジャンルと、子どもからおとなまで敷居を感じずに親しむことができる空間をつくり、文化芸術への関心を高め、創作体験の機会を提供する。

■スケジュール

5月 ワークショップマルシェ公募開始

8月 「みるプログラム」広報物配布

9月～京丹後アートフェスティバル2024開催予定（～12月まで）

期間中、「知るプログラム」、ワークショップマルシェ、を実施



広報物イメージ



ワークショップマルシェイメージ
（剣淵町地域おこし協力隊ログより）

参考資料

3 TANGOまるっぽ美術館
(令和5年度実績)

開催期間：2023年11月7日～12月20日

- ・メイン会場 (セントラールホテル京丹後) 11/17～11/19
- ・丹後会場 (丹後庁舎1階ホール) 11/7～11/28
- ・弥栄会場 (弥栄ゆう薬局) 11/7～12/4
- ・大宮会場 (つねよし百貨店) 12/6～12/20

